

新しいネットワークサービスを実現するソフトウェア

広島市立大学 情報工学科 ネットワークソフトウェア研究グループ

情報工学専攻 教授 大田知行, 准教授 舟阪淳一

モバイルネットワーク環境での新しいネットワークサービスを実現するネットワークソフトウェアの研究開発を行っています。携帯電話ネットワークや無線マルチホップネットワークなど、様々なネットワーク環境に対応したアプリケーションやプロトコルの設計・評価を通じて、次世代ネットワーク技術の発展に貢献します。



無線マルチホップネットワーク

- 災害時ネットワーク：基地局機能が弱まった時でも相互通信が可能
- 車車間ネットワーク：自動車間での渋滞情報などの情報共有
- バケツリレー方式：途中の端末を経由してデータを転送

ネットワークシミュレータ

- 大規模評価：数十台から数千台の端末をシミュレーション
- ns-3活用：ネットワークプロトコルの性能評価
- 実機連携：モバイル端末との連携による実証実験

デジタルツイン

- 仮想空間評価：ゲームエンジンによる現実に近い環境
- インタラクティブ：ユーザがコントローラで操作可能
- 総合評価：シミュレータ・仮想空間・実機の連携

適応型ネットワーク技術

- アダプティブストリーミング：帯域変動に応じた動画品質制御
- QUIC技術：次世代トランスポートプロトコル
- 情報指向ネットワーク：IPに代わる新しいアーキテクチャ

研究のイメージ



キーワード：センシング情報の可視化、分割並列ダウンロード、CCNプロキシ技術、Fediverseシステム、並列TCP/MPTCP、災害時情報共有